

Ⅲ 令和4年度企業会計の決算状況

1 下水道事業会計

〔概要〕

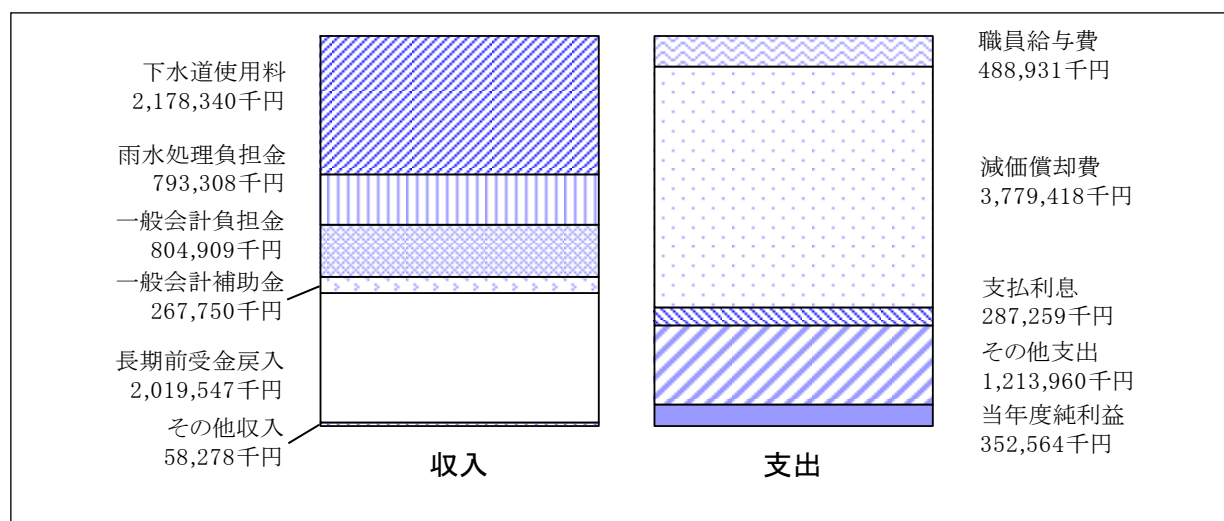
令和4年度の下水道事業の運営については、快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び雨水浸水被害の軽減を図るため、施設の維持管理及び計画的かつ効率的な施設整備等を実施しました。主な事業としては、東部浄化センター終沈汚泥掻寄機整備工事、玉川ポンプ場建設工事、中川15号雨水幹線工事、厚南1-1号汚水幹線工事、汚水の面整備等を実施しました。

汚水処理状況については、汚水整備戸数が145戸(前年度比148.0%)で、普及率は79.0%となり、年間総処理水量は19,167,635 m³(前年度比93.5%)で、有収水量は12,717,570 m³(前年度比98.4%)となりました。

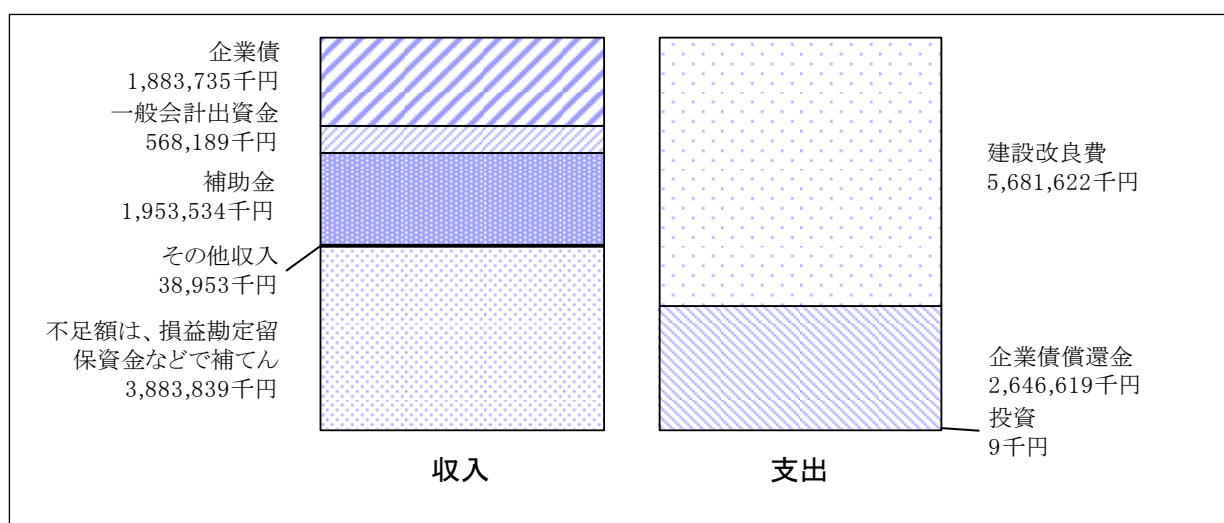
経営成績については、事業収益は6,122,132千円に、事業費用は5,769,568千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は352,564千円に、また、当年度未処分利益剰余金は708,120千円となりました。

一方、資本的収支については、収入4,444,411千円(翌年度繰越工事財源726,035千円を除く)、支出8,328,250千円となり、差引不足額は、3,883,839千円となりましたが、これは、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額22,626千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額171,894千円、繰越工事資金1,455,854千円、減債積立金200,000千円、建設改良積立金99,000千円、過年度分損益勘定留保資金184,948千円及び当年度分損益勘定留保資金1,749,517千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕



※資本的収入額は、翌年度繰越工事財源の額を控除した額